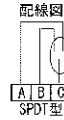
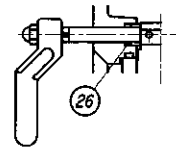
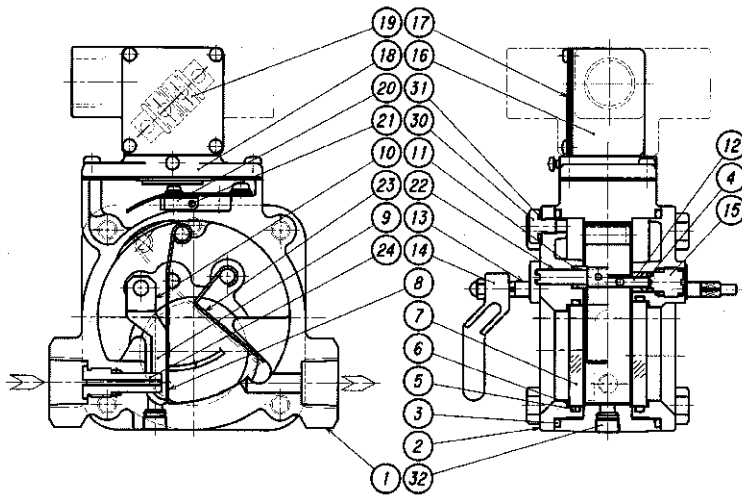


TYPE: -SSHRT

ワイパー内蔵 FLOW GAUGE

OPERATION MANUAL



スイッチ型式	定格接点容量	最大使用電圧	最大接点容量
SPST 3717	AC/DC200V	10VA/W	
SPDT 3336	AC/DC150V	20VA/W	

配線ならび電源側の影響による定格外の使用となり、リードスイッチを破損させることがあります。外部からの影響が予測される場合には、パルス・抵抗等による接点保護対策を行なって下さい(オプション対応可)

部品表			
符号	部品	数	備考
1	ボディ	1	
2	カバー	2	
3	リング	2	
4	リング	2	
5	リング	2	
6	カクシシフト	2	
7	サイトグラス	2	
8	フラップ	1	
9	ブランチ	2	
10	ブランチ	2	
11	リング	4	
12	スピンドル	1	
13	ブランチシフト	1	
14	ハンドル	1	
15	ヒモッピース	2	
16	カクシシフト	1	
17	同上用カバー	1	
18	T BOXシート	1	
19	カクシ台	1	
20	リードスイッチ	1	
21	リードスイッチ	1	
22	フラップ戻しシフト	1	
23	フラップ戻し板	1	
24	ボルト	8	
30	フラップ	1	
31	リング	1	
32	フラップ	1	

※材質は納入図面を御参照下さい

構造:

フラップ開度とサイトグラス目盛により流量ならびに流体の確認が可能です。

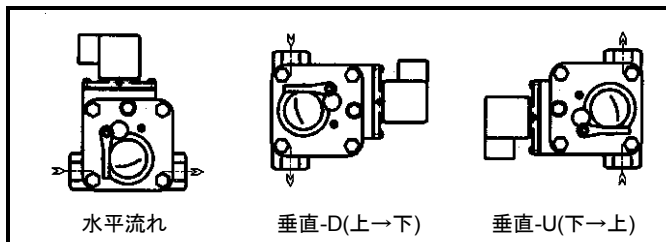
本体内蔵のワイパーブランチを御使用いただくことで、

1. サイトグラスに付着した水垢ならび汚れの除去
2. フラップならびスピンドルの固着防止
3. フラップ周辺部のゴミ等の付着防止
4. 模擬流量による信号確認ならび信号調整等が可能であり、ワイパー機構の利用度は高いものがあります。

管接続時の確認:

1. 水平方向に取付ける場合、本体が傾かないように取付けて下さい。
2. 配管規格・サイズが違っているものを、無理に接続しないで下さい。
3. 配管ストスが本体に直接かからないように注意して下さい。

取付リスト:



正しい姿勢・方向で取付けて下さい、誤った取付は故障の原因となります。

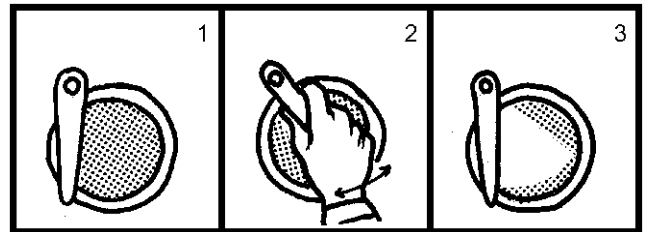
- ※精度保証の為の直管部 … 3D(口径の3倍)
- ※破損の要因となりますので、逆流はさせないで下さい。

管接続時の確認:

1. 電源を切った状態で結線して下さい。
2. 接点容量以上の負荷電力を接続しないで下さい。

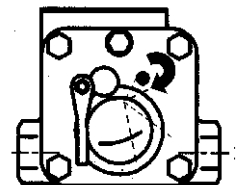
メンテナンス:

1. サイトグラス内掃除
 - ⑦サイトグラスに水垢等の汚れが付いた時、⑧フラップの動作が正常か確認する時に、ワイパーハンドルを数回回転して下さい。
 - 著しく汚れる前に、定期的実施していただくことが有効です。



- ※ 運転中に行くと模擬流量による誤信号が出る可能性がありますので、制御方法を確認の上行って下さい。
- ※ ワイパー操作終了後は、⑨ブランチが⑧フラップの動作を妨げないように0目盛以下に格納して下さい。

2. フラップが戻らなくなった時
 - ②フラップ戻しシフトを操作することで、
 - ②フラップ戻し板により、フラップを強制的に0目盛方向に押し下げることが出来ます。
 - フラップがスムーズに動かない時には、ワイパー操作と併用することで正常に戻ります。



3. リードスイッチ交換
 - リードスイッチは長期間の御使用による接点寿命や容量以上の過負荷により焼損することがあります。
 - その際には、信号流量の調整と同じ方法で交換ならび調整をして下さい(リードスイッチのみの御手配も可能です)。

⊗ TAIYO VALVE MFG. CO., LTD.

メンテナンス:

4. ボディの分解掃除

- 1. ⑭ワンドルの袋ナットを外し、ワンドルを⑬ブラインドリジヤクから抜き取ります。
 - 2. (ワンドルを取外した側の)②カバーから、②ボルトを外します。
 - 3. ブラインドリジヤクが①ボディ側に残るように、カバーを外します。
この時、⑦サイトグラスはカバーと一体になっています。
 - 4. ボディに残っている⑫スピンドルならび⑧ワッパ-を取外して下さい。
 - 5. 取外したスピンドル、ワッパ-ならびボディ内面を掃除して下さい。
- 以上で分解掃除は完了です。

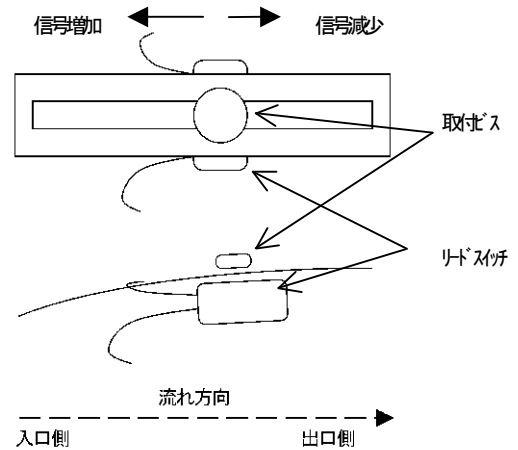
組立は、分解順序の逆に行なって下さい。

- ※ 分解掃除を実施する時は、Oリング 交換も併せてお願い致します (パッキン類の再利用は、漏れにつながる恐れがあります)。
- ※ スピンドルを組付ける時には、⑨ブラシと③ワッパ-戻し板でワッパ-を挟み込んで固定した状態で、組付けて下さい。

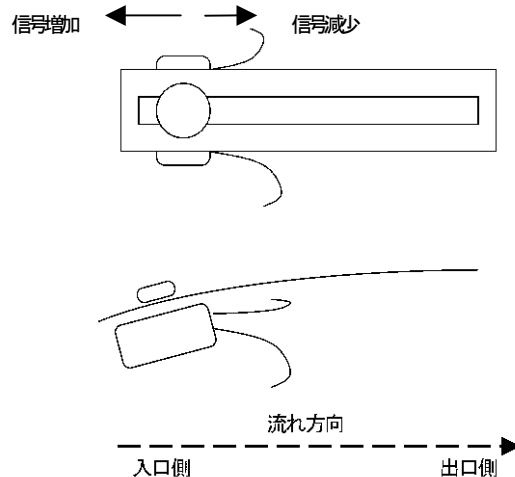
5. 信号流量の調整

- 1. ⑩T.BOXシートを外します(配線はつながったままですので、丁寧に外して下さい)。
 - 2. 現在のセツ位置をマキグして、⑳リードスイッチの取付けビスをゆるめます。
 - 3. 新たに調整する位置にワッパ-を固定します(サイトグラス目盛、流量表を参照)。
 - 4. ⑳スイッチスを移動して、ワスターの動作する位置が調整後のセツ位置になります。
- ワッパ-操作を数回繰返し、適正な流量で信号検知出来ているか、ワッパ-の全閉・全開時に二度入りしないか確認して下さい。

※ リードスイッチ取付部
(以下 ON 時)



(以下 OFF 時)



- 5. スイッチス取付けビスを締付、⑩T.BOXシートを取付けて完了です。